

改善報告書

令和7年7月29日

1. 大学名：人間総合科学大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科において収容定員充足率が0.7倍未満であることから、収容定員充足に向けた一層の改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

健康栄養学科とヘルスフードサイエンス学科における認証評価受審年度の令和4(2022)年度以降の入学定員と収容定員の充足率の推移は以下のとおりである。

・健康栄養学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入学者数	66	66	41	43
入学定員	80	80	80	40
入学定員充足率	83%	83%	51%	108%
在籍学生数	223	218	194	198
収容定員	320	320	320	280
収容定員充足率	70%	68%	61%	71%

・ヘルスフードサイエンス学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入学者数	26	33	18	21
入学定員	60	60	60	15
入学定員充足率	43%	55%	30%	140%
在籍学生数	110	113	93	93
収容定員	260	240	240	195
収容定員充足率	42%	47%	39%	48%

これまでの入学者数の推移を踏まえ、人間科学部の構造転換に伴う収容定員規模の適正化の一環として、令和7年度より以下のとおり入学定員の減員を実施した。

健康栄養学科 80名 → 40名 (▲40)

ヘルスフードサイエンス学科 60名 → 15名 (▲45)

その結果、令和7年度は両学科とも入学定員を充足するに至った。特に健康栄養学科においては、令和7年度の収容定員充足率が0.7倍を上回った。

今後の入学者確保に向けた施策として、入学者選抜においては「スカラシップ選抜」や「ファミリー給付奨学金」など、本学独自の奨学金制度を拡充していく。

広報活動においては、保護者と受験生を対象としたオープンキャンパスの充実、高校訪問のエリア拡大、重点高校との関係強化、高校での出張授業や大学見学体験を通じた入学前教育と初年次教育の連携推進などを精力的に展開し、入学志願者との接点を増やしていく。さらに、本学の認知度向上を図るため、WEB媒体・SNS・動画などによる情報発信やダイレクトメール等の活用を一層強化し、通信制高校や高等専修学校へのアプローチも拡げていく。あわせて、LINEやWEBによる個別相談など、多様化するニーズにきめ細かく対応できる体制の強化にも取り組む。

なお、収容定員が令和10年度まで段階的に減少していくことを踏まえ、戦略的かつ計画的な広報活動を継続することで、次年度以降も入学定員の充足および収容定員充足率の改善が見込まれる。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

- ・【資料2-1-1】 人間総合科学大学学則（抜粋）

改善報告書

令和7年7月29日

1. 大学名：人間総合科学大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-4

○岩槻キャンパスに学生相談室を設置しているものの、相談員を配置していないため改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-4 について

本認証評価での指摘を受け、令和5(2023)年1月より非常勤の相談員を1名採用し、岩槻・蓮田の各キャンパスに、月1日の常駐日をそれぞれ設け、学生が直接相談室を訪問できる体制を整えた。また、従来どおり、常駐日以外についても、事前予約により対面またはオンラインでの面談を継続して実施している。

しかしながら、当該相談員は令和6(2024)年3月に退職したため、それ以降は本学人間科学部心身健康科学科（通信教育課程）の教員2名（いずれも臨床心理士・公認心理師の資格保有者）が相談員を兼務している状況である。

参考迄に過去3年間の相談実績を以下に示す。

・相談室利用者数

年月 キャンパス	令和5(2023)年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岩槻キャンパス		1	3	3	2			1		1		
蓮田キャンパス	1	1	1	2	3	3	3	3	1	3	3	1

年月 キャンパス	令和6(2024)年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岩槻キャンパス		1		1	1	1			1	2		1
蓮田キャンパス	3	1							1		3	

年月 キャンパス	令和7(2025)年					
	1	2	3	4	5	6
岩槻キャンパス						1
蓮田キャンパス					1	

なお、その間も相談員の募集を継続しており、令和7（2025）年9月から非常勤の相談員の採用を決定している。これにより、岩槻キャンパスにおいて週1日程度の常駐日を設ける予定である。

今後も、コロナ禍による対面交流の減少が、学生の心理的困難や対人コミュニケーション能力の低下を招いている現状を踏まえ、相談室の利用状況に応じて、常駐日の増加や相談員の増員などの対応を検討していく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-4 の資料

- ・【資料 2-4-1】 学生相談室からのお知らせ（ポスター）

改善報告書

令和7年7月29日

1. 大学名：人間総合科学大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：5-3

○評議員数が理事の定数の2倍を超える数未満で構成している点は改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 5-3 について

本認証評価での指摘を受け、評議員数が理事の定数の2倍を超える数で構成するために、令和5（2023）年1月に文部科学省へ寄附行為変更認可申請書を提出し、令和5年3月31日付で認可を受けた。変更申請した内容は以下のとおりである。

理事定数 7名（変更なし）

評議員定数 （変更前）14名 → （変更後）15名

これにあわせて、令和5年3月17日開催の理事会において不足している評議員の推薦を行い、同日開催の評議員会において選任し、適正な人数による体制を整えた。

また、令和7年4月には、私立学校法改正に伴う寄附行為変更認可申請書を提出し、新たに理事6名、監事2名、評議員7名、会計監査人1名で体制を整えている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 5-3 の資料

- ・【資料 5-3-1】 理事会議事録(R4. 12. 22)
- ・【資料 5-3-2】 寄付行為変更認可申請書（抜粋）(R5. 1) 新旧対照表
- ・【資料 5-3-3】 理事会議事録(R5. 3. 17)

改善報告書

令和7年7月29日

1. 大学名：人間総合科学大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：6-3

○岩槻キャンパス学生相談室への相談員の配置及び評議員数の充足に関する問題があるため、内部質保証の機能性をより一層充実するよう、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 6-3 について

- (1) 岩槻キャンパスの学生相談員については、非常勤相談員の配置、ならびに人間科学部心身健康科学科（通信教育課程）の教員2名（いずれも臨床心理士・公認心理師の資格保有者）が相談員を兼務することで対応している。今後も、相談室の利用状況に応じて、常駐日の増加や相談員の増員などの対応を検討していく。
- (2) 評議員数の充足については、寄附行為を変更のうえ不足していた評議員を選任し、適正な人数による体制を整えた。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 6-3 の資料

- | | | |
|-------------|------------------------|-------------------------|
| ・【資料 6-3-1】 | 学生相談室からのお知らせ（ポスター） | ※【資料 2-4-1】と同じ |
| ・【資料 6-3-2】 | 理事会議事録(R4. 12. 22) | ※【資料 5-3-1】と同じ |
| ・【資料 6-3-3】 | 寄付行為変更認可申請書（抜粋）(R5. 1) | 新旧対照表
※【資料 5-3-2】と同じ |
| ・【資料 6-3-4】 | 理事会議事録(R5. 3. 17) | ※【資料 5-3-3】と同じ |